

下水道事業業務状況説明書類
(令和6年度上半期)

事業の概況

下水道事業の状況

●公共下水道の整備状況（R6.9.30現在）

区 分	令和6年3月末	令和6年9月末	令和6年度上半期増減
水洗化人口（区域内）	36,740 人	36,594 人	▲ 146 人
水洗化率（区域内）	87.0 %	87.0 %	0.0 %

※水洗化率は、水洗化人口を供用開始人口で除した数値。

●個別排水処理施設の整備状況（R6.9.30現在）

区 分	令和6年3月末	令和6年9月末	令和6年度上半期増減
設置等基数	102 基	105 基	3 基

※設置等基数には、個別排水処理施設事業開始以前に利用者が設置し、事業開始後に市が受贈したものを含む

工事発注の状況（R6.4～R6.9）

【公共下水道事業】

予算：資本的支出 款：資本的支出 項：建設改良費 目：管渠建設費

(単位：円)

工事名	契約日	契約額	契約先
下水道管路上舗装復旧工事	令和6年4月18日	671,000	菱中建設(株)室蘭支店
汚水柵設置工事その1	令和6年6月4日	2,013,000	(株)小倉組
千歳町汚水管渠新設工事	令和6年7月24日	3,395,700	(株)佐々木組
6198-1外汚水管渠改良工事	令和6年8月7日	3,140,500	(株)リフィット
汚水柵設置工事その2	令和6年8月28日	4,240,500	(株)小笠原組
汚水管渠改良工事に伴う舗装復旧工事	令和6年9月24日	2,948,000	菱中建設(株)室蘭支店

【個別排水処理施設事業】

予算：資本的支出 款：資本的支出 項：建設改良費 目：個別排水処理整備費

(単位：円)

工事名	契約日	契約額	契約先
合併処理浄化槽設置工事その1	令和6年4月18日	3,905,000	オール設備(株)
合併処理浄化槽設置工事その2	令和6年4月18日	2,200,000	(株)藤田設備工業
合併処理浄化槽設置工事その3	令和6年7月22日	2,585,000	(株)荒川設備
合併処理浄化槽設置工事その4	令和6年8月26日	3,795,000	(株)藤田設備工業

経理の状況

令和6年度 登別市下水道事業貸借対照表
(令和6年9月30日現在)

(単位：円)

資 産 の 部			負 債 の 部		
1 固定資産			3 固定負債		
(1)有形固定資産			(1)企業建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,977,651,573	
イ 土地		887,448,041	企業債合計		12,977,651,573
ロ 建物	1,001,048,932		固定負債合計		12,977,651,573
減価償却累計額	<u>△ 369,710,691</u>	631,338,241			
ハ 構築物	30,096,649,987		4 流動負債		
減価償却累計額	<u>△ 7,973,918,965</u>	22,122,731,022	(1)企業建設改良費等の財源に充てるための企業債	624,596,732	
ニ 機械及び装置	3,083,155,643		企業債合計		624,596,732
減価償却累計額	<u>△ 1,715,691,943</u>	1,367,463,700	(2)未払金		0
ホ 車両運搬具	1,285,200		(3)前受金		711,000,000
減価償却累計額	<u>△ 1,221,200</u>	64,000	(4)引当金		
ヘ 工具、器具及び備品	15,550,386		イ 賞与引当金	0	
減価償却累計額	<u>△ 14,574,910</u>	975,476	ロ 法定福利費引当金	<u>0</u>	
ト 建設仮勘定		21,729,230	(5)引当金		0
有形固定資産合計		25,031,749,710	(6)その他の流動負債		33,186,356
(2)無形固定資産			流動負債合計		1,368,813,109
イ その他無形固定資産		1,656,000	5 繰延収益		
無形固定資産合計		1,656,000	(1)長期前受計	13,107,425,706	
固定資産合計		25,033,405,710	(2)収益化累計	<u>△ 4,168,119,227</u>	
2 流動資産			繰延収益合計		8,939,306,479
(1)現金・預金		200,159,023	負債合計		23,285,771,161
(2)未収金	102,921,273		資本の部		
貸倒引当金	<u>△ 5,615,175</u>	97,306,098	6 資本金		1,565,547,705
(3)前払金		3,518,200	7 剰余金		
(4)その他流動資産		12,585,764	(1)資本金	340,627,285	
流動資産合計		313,569,085	資本剰余金合計		340,627,285
資産合計		25,346,974,795	(2)利益剰余金	44,041,760	
			イ 減債積立金	<u>110,986,884</u>	
			ロ 当年度未処分利益剰余金		155,028,644
			利益剰余金合計		
			剰余金合計		495,655,929
			資本合計		2,061,203,634
			負債資本合計		25,346,974,795

※償却累計額及び収益化累計額の計上にあたっては、それぞれ減価償却費、長期前受金戻入について、当初予算計上額のうち上半期相当分を計上

令和6年度 登別市下水道事業損益計算書
(令和6年4月1日から令和6年9月30日まで)

(単位：円)

1	営業	収益			
	(1)	使用料	318,638,088		
	(2)	処埋料金	10,476,761		
	(3)	他会計負担金	0		
	(4)	その他営業収益	98,100	329,212,949	
2	営業	費用			
	(1)	管渠費	11,577,695		
	(2)	処理場費	100,254,961		
	(3)	排水設備促進費	33,000		
	(4)	し尿投入施設運転管理費	200,000		
	(5)	個別排水処理施設管理費	2,192,964		
	(6)	総係費	392,483		
	(7)	職員給与	18,450,224		
	(8)	減価償却費	460,244,131		
	(9)	資産減耗費用	0		
	(10)	その他営業費用	0	593,345,458	
		営業利益			△ 264,132,509
3	営業	外収益			
	(1)	受取利息及び配当金	2		
	(2)	他会計補助金	0		
	(3)	長期前受金戻入	184,000,835		
	(4)	その他営業外収益	5,728,177		
	(5)	雑収	1,834,440	191,563,454	
4	営業	外費用			
	(1)	支払利息及び 企業債取扱諸費	96,431,379		
	(2)	雑支	7,880	96,439,259	95,124,195
		経常利益			△ 169,008,314
5	特別	利益			
	(1)	過年度損益修正	19,483,800	19,483,800	
6	特別	損失			
	(1)	固定資産売却	0		
	(2)	減損	0		
	(3)	災害による	0		
	(4)	過年度損益修正	0		
	(5)	その他特別	0	0	19,483,800
		当年度純利益			△ 149,524,514
		前年度繰越利益剰余金			107,793,908
		その他の未処分利益			152,717,490
		剰余金変動額			
		当年度未処分利益剰余金			110,986,884

※減価償却費及び長期前受金戻入は当初予算計上額のうち上半期相当分を計上

そ の 他

前事業年度の決算の状況

【総括事項】

本年度は、人口減少や節水意識の高まりにより、下水道使用料の収益が減少したほか、物価上昇等に伴い維持管理費が増加するなど、引き続き厳しい経営環境に置かれました。

こうした厳しい社会情勢の中、持続可能な事業経営を行うため、コスト縮減に努めながら、維持管理に資する施設整備を計画的に実施するなど、効率的な経営に努めました。

また、下水道事業の公共的使命を果たすため、汚水の安定的処理やこれによる公共水域の保全、浸水防除など、汚水管渠の改築更新や雨水管渠の新設などを実施しました。

イ 業務状況

年間有収水量は、公共下水道事業で前年度に比べ24,793 m³減少の3,066,393 m³、個別排水処理施設事業で前年度に比べ108 m³増加の17,595 m³となりました。

ロ 建設改良事業

管渠建設費においては、中央町地区の雨水浸水対策として、雨水管渠新設工事を実施したほか、汚水管渠については、既設管のたるみが著しい箇所での改良工事などを行いました。

また、処理場建設費においては、ストックマネジメント計画に基づき、若山浄化センターの計装設備の改築更新を行いました。

【決算の概要】

収益的収支（税抜き）

収入は、営業収益7億441万2,262円（うち使用料6億4,708万6,771円）、営業外収益9億4,428万770円、特別利益659,886円の合計16億4,935万2,918円となりました。

これに対し支出は、営業費用13億3,901万7,464円、営業外費用2億235万8,006円、特別損失18万3,540円の合計15億4,155万9,010円となり、収支差引による当期純利益は1億779万3,908円となりました。

資本的収支（税込み）

収入は、企業債6億6,840万円、負担金及び分担金1,050万8,594円、補助金4億1,403万8,884円の合計10億9,294万7,478円となりました。

これに対し支出は、建設改良費5億9,170万673円、企業債償還金12億4,527万6,382円の合計18億3,697万7,055円となり、収支差引による不足額は、7億4,402万9,577円となりました。

この不足額については、損益勘定留保資金などで補てんしました。